

経済情勢

(3月分)

2012年4月

在コロンビア日本大使館

I 概要

●7日、伊藤忠商事の米国子会社は、JBICとの間で6.19億ドルの貸付契約に調印した。これは、米国ドラモンド社が保有する、セサル県における炭鉱権益の20%を保有するための資金調達である。

●サントス大統領は29日、米・「コ」FTAが今後5年間で50万人の雇用を創出し、国内の税収が0.7%、投資が2%増加するだろうと発表した。

●「コ」憲法裁判所は21日、中・「コ」投資協定を承認した。

●中銀がコロンビア・ペソの対ドル相場安定のため、2011年中に実施した為替介入（ドル買い）の合計額は37.2億ドルであった。

II 主な出来事

<国内情勢>

(1) 実質 GDP 成長率 (以下, 成長率)

国家企画庁 (DANE) 発表 : (22日, 当地紙報道)

2011年のコロンビアの成長率は前年比で+5.9%であり、同年第4四半期は前年同期と比較して+6.1%伸びた。産業別には、鉱業が+14.3%と前年(+11.1%)に引き続き最も高い伸びを見せ、運輸・通信が+6.9%、次いで商業が+5.9%となった。

(2) インフラ

(ア) ボゴタ市街電車プロジェクト発表 (27日, 当地紙報道)

ペトロ・ボゴタ市長は、既存道路のCarrera7に併設する市街電車プロジェクトを発表した。本プロジェクトは、建設に2年半かかり、工費は約1兆ペソであるとした。同発表は、市議会及び運輸省、その他の国家機関に波紋を起こしている。サントス大統領も市長に対し、既存のメトロ（地下鉄）プロジェクトを延期させないよう要請した。

(イ) 対米及び対EU・FTA発効に向けた港湾整備 (24日, 当地紙報道)

米国及びEUとのFTA発効を控え、大型貨物の受け入れ可能な港の整備が進んでいる。ブエナVENTOURA港湾公社は今年、クレーンの購入や保管倉庫の建設のために1450万ドルの投資を計画している。

(ウ) 「エル・ドラド」国際空港新ターミナルが6月に完成予定 (30日, 当地紙報道)

29日、コンセッション企業「Opain」社は現在建設中である「エル・ドラド」国際空港の新ターミナルが6月29日、Aerocivilに引き渡される旨を発表した。これにより、新ターミナルは8月より稼働することになり空港利用客数の増加が見込まれる。

(3) 企業動向

(ア) 伊藤忠商事 (8日, 当地紙報道)

7日, 伊藤忠の米国子会社 (ITOCHU Coal Americas INC.) は JBIC との間で 6.19 億ドルの貸付契約に調印した。これはセサル県の炭鉱権益の 20% を保有するための資金調達であり, 米国ドラモンド社に支払われる。2012 年の生産規模は 3,000 万トンになる見込み。

(イ) 日産自動車 (14日, 当地紙報道)

エンリケ・バルガス DISNISSAN 社長は, 2012 年の販売台数見通しを 3 万台とした。これは前年の販売台数 (2.4 万台) を 25% 上回る。

(4) その他

(ア) 全国企業家連盟 (ANDI) 次期会長任命 (14日, 当地紙報道)

全国企業家連盟 (ANDI) 理事会は, ルイス・カルロス・ビジェガス氏を引き続き会長に任命することを決定した。就任期間は 4 年間。

< 対外関係 >

(1) 対米 FTA 関連

29日, 大統領府プレスリリースによれば, サントス大統領は, 米・「コ」 FTA が今後 5 年間で 50 万人の雇用を創出し, 国内の税収が 0.7%, 投資が 2% 増加するだろうと発表した。

(2) 対 EU・FTA 関連

16日, EU 各国の 27 名の貿易担当大臣は, 対コロンビア及び対ペルー FTA に関する信任投票を行い全会一致で可決した。5 月には正式に承認され, 9 月には欧州議会による批准が期待される。

(3) 対英関係

13日, 「コ」 憲法裁判所は 2010 年に署名済みの英・「コ」 投資協定の違憲審査を終え, 承認した。

(4) 対イスラエル FTA 関連

12日~15日, エルサレムにおいて対イスラエル FTA 交渉第 1 回会合が開催され, ディアス - グラナドス商工観光相が同国を訪問した。会合では主に市場アクセスに関して話し合われた。

(5) 対パナマ FTA 関連

ディアス - グラナドス商工観光相は, 2010 年から一時中断しているパナマとの FTA 交渉を近日中にも再開すると発表した。主に農産物及び非農産物市場アクセス, 原産地証明, 政府調達の分野で交渉予定。

(6) 対コスタリカ FTA 関連

コロンビアとコスタリカの商工大臣は、6月から交渉開始する予定の2国間のFTAに関して検討を行うと表明した。同FTAの枠組みには商業、投資、経済協力が盛り込まれ、8月に発効されるコスタリカ・中国FTAに伴い中国市場へ進出する足掛かりとなる。

(7) 対アジア関係

(ア) 対日関係

(i) シエラ YAMAHA 会長によれば、2012年の「コ」国内のオートバイ販売数は過去最多の61.5万台（前年比+15%）を見込んでいる。このうち9割以上が日本製のオートバイである。

(ii) 6日から9日にかけて、アジアで最大規模のFoodex Japan 2012（於：千葉）が行われ、コロンビアからはコーヒーを専門とする2社がPROEXPORT（コロンビア貿易振興庁）の支援を受け参加した。

(イ) 対中関係

21日、憲法裁判所は署名から約3年を経て、中・「コ」投資協定を承認した。ディアス・グラナドス商工観光相は、同協定締結によりアジア太平洋諸国との一層の関係強化が図られるとした。

(ウ) 対韓 FTA 関連

3月の最終週に予定されていた韓・「コ」FTA交渉第6回会合が延期され、27日から29日にミニラウンド（於：シカゴ）が開催された。投資及び原産地規制について議論されたが、農業関連及び製造業における市場アクセスについては議論されなかった。

<経済指標>

(1) 経済活動全般

(ア) 実質工業生産指数（DANE 発表）

1月の実質工業生産指数（コーヒー豆加工を除く）は前年同月比+2.4%となり、市場予想の+4%を下回った。

(イ) 実質小売売上高指数（DANE 発表）

1月の実質小売売上高指数は前年同月比+4.9%であった。皮革製品（同+18.9%）、家庭用情報機器（同+14.8%）、自動車部品（同+14.8%）が高い伸びを示した。

(ウ) 消費者信頼感指数（Fedesarrollo 発表）

2月の消費者信頼感指数（ICC）は26.8%と前月（32.7%）に比べて低下したが、前年同月比を5.8%ポイント上回った。

(2) 産業動向

(ア) 原油生産量 (国家炭化水素庁 (ANH) 発表)

2月の原油生産量は日量89.6万バレルであり、前年同月の86.2万バレルより増加したものの、前月比94.1万バレルより4.8%下落した。

(イ) コーヒー

(i) 生産及び輸出 (コーヒー生産者連合会 (FNC) 発表)

FNC加盟コーヒー生産者による2月のコーヒー生産量は、洪水被害の影響を主因として、前年同月の76.4万袋(1袋=60kg)から57.1万袋へと大幅に減少し、輸出量についても65.1万袋から55.6万袋へと減少した。

(ii) 価格 (国際コーヒー機関発表)

2月のコロンビア産マイルド・アラビック・コーヒーの価格は月平均1ポンド=2.48ドル(前月は同2.56ドル、前年同月は同3.00ドル)であった。

(3) 物価・雇用 (DANE 発表)

(ア) 物価

2月の消費者物価上昇率は+3.55%(前年同月比、以下同)と、前月の3.54%とほぼ横ばいであった。また、2月の生産者物価上昇率は2.72%であった。

(イ) 雇用

2月の全国平均失業率は11.9%と、前年同月の12.9%から1.0%ポイント改善した。また、主要13都市の平均失業率についても前年同月の13.2%から12.5%へと僅かに改善した。

(4) 金融

(ア) 為替介入

中銀がコロンビア・ペソの対ドル相場安定化のため、2011年中に実施した為替介入(ドル買い)の合計額は37.2億ドルであった。

(イ) 金融政策

23日、中央銀行理事会は政策決定会合を開き、前月に続き政策金利を5.25%に据え置くことを決定した。

(5) 貿易収支 (DANE 発表)

1月の貿易黒字(FOB)は、前年同月の2.1億ドルから4.8億ドルへと拡大した。輸出の伸びが輸入のそれを大幅に上回った。輸出(FOB)は、伝統産品輸出が前年同月比+27.5%と大幅に増加したため、全体では同+24%の46.9億ドルとなった。一方、輸入(CIF)は、自動車輸入(同+25.8%)が伸びたため全体では同+17.3%の44.2億ドルとなった。

Ⅲ 主な経済指標

(1) 経済活動指数 (単位：％，出所：DANE)	11/1	11/11	11/12	12/1
(ア) 実質工業生産指数 (前年同月比)	6.2	6.6	2.4	2.4
(イ) 実質工業売上高指数 (同)	4.1	5.7	4.5	3.4
(ウ) 実質小売売上高指数 (同)	12.3	1.3	7.5	4.9
(エ) 新規建設着工承認面積 (単位：万㎡)	167.7	164.9	251.8	142.6
(2) 失業率 (単位：％，出所：DANE)	11/2	11/12	12/1	12/2
(ア) 全国平均	12.8	9.8	12.5	11.9
(イ) 主要13都市平均	13.2	10.4	13.3	12.5
(3) 消費者物価上昇率 (単位：％，出所：DANE)	11/2	11/12	12/1	12/2
(ア) 前月比	0.60	0.42	0.73	0.61
(イ) 前年同月比	3.17	3.73	3.54	3.55
(4) 政策金利 (単位：％，出所：中央銀行)	11/3	12/1	12/2	12/3
	3.50	5.00	5.25	5.25
(5) 為替 (対ドル為替レート) (単位：ペソ，出所：中央銀行)	11/3	12/1	12/2	12/3
(ア) 月初	1,907.37	1,942.70	1,805.98	1,766.85
(イ) 月末	1,879.47	1,815.08	1,767.83	1,792.07
(ウ) 最高値	1,866.20	1,801.88	1,772.42	1,792.07
(エ) 最安値	1,916.05	1,942.70	1,805.98	1,758.03
(6) 株式指数IGBC (単位：ポイント，出所：「コ」証券取引所)	11/3	12/1	12/2	12/3
(ア) 月初	15,134.22	12,735.77	13,870.60	15,169.74
(イ) 月末	14,469.66	13,863.33	14,932.81	15,038.26
(ウ) 最高値	15,381.15	13,766.91	14,954.30	15,288.01
(エ) 最安値	13,877.37	12,735.77	13,870.60	14,674.14
(7) 貿易 (単位：百万ドル，出所：DANE)	11/1	11/11	11/12	12/1
(ア) 輸出額 (FOB)	3,782.0	4,882.0	5,501.4	4,691.0
(イ) 同 年内累計	3,782.0	51,179.3	56,953.5	4,691.0
(ウ) 輸入額 (FOB)	3,572.1	4,810.8	4,291.1	4,212.4
(エ) 同 年内累計	3,572.1	47,706.9	51,998.0	4,212.4
(8) 労働者送金 (単位：百万ドル，出所：中央銀行)	11/1	11/11	11/12	12/1
	306.9	362.0	383.7	303.0
(9) ガソリン価格 (単位：ペソ，出所：鉱山・エネルギー省)	11/3	12/1	12/2	12/3
注：ボゴタのレギュラーガソリン1ガロン当たり	8,299.52	8,707.40	8,811.68	8,911.68
(10) 自動車販売台数 (単位：台，出所：Econometria社)	11/2	11/12	12/1	12/2
(ア) 単月	25,527	29,961	23,456	27,371
(イ) 年内累計	46,298	324,570	23,456	50,827

(了)